

## Press Release

2015年9月30日

### 機能性成分を含む「ファイトリッチ」に注目した野菜 BOX が限定発売

—京都の老舗種苗メーカー「タキイ種苗」と新興の野菜提案企業「坂ノ途中」が連携—

このたび株式会社坂ノ途中（京都市南区）は、タキイ種苗株式会社（京都市下京区）と連携し、ファイトリッチシリーズを中心にしたタキイ種苗の品種だけの野菜 BOX を限定発売します。

#### ◆連携の概要

環境負荷の小さい農業の普及を目指し高付加価値型の農産物販売を手掛ける株式会社坂ノ途中は、お客さまに提供する価値向上策のひとつとして、タキイ種苗株式会社がプロデュースする「ファイトリッチ」シリーズに注目。同シリーズの認知度向上を図りたいタキイ種苗との連携を企画しました。京都を代表する老舗のタキイ種苗と、設立7年の新興の農業系企業とのコラボ企画です。

坂ノ途中が契約している新規就農者に「ファイトリッチ」シリーズをはじめとするタキイ種苗の品種の栽培を委託し、タキイ種苗が専門家を栽培現場に派遣、栽培時のポイントなどの情報提供を行うことで、すべてタキイ種苗が扱う品種で構成する野菜 BOX を実現しました。

野菜 BOX の内容は、「弁天丸」ホウレンソウ、「紅法師」赤ミズナ、「京くれない」ニンジンというファイトリッチ品種を中心に「三太郎」ダイコンや「スワン」カブ、「桃太郎ファイト」を贅沢に使ったトマトピューレなど彩り豊かな7~8品目。今年タキイ種苗が創立180周年を迎えるのにちなみ、11月と12月にそれぞれ180箱限定で販売します。（税別1箱2,400円、送料別途480円）。

ご注文は、坂ノ途中の通販サイトにて受け付けています。坂ノ途中の通販サイト (<http://www.on-the-slope.com/shop/>) の左側ツールバーより、「タキイ種苗 x 坂ノ途中」をクリックしてください。

#### 〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社坂ノ途中

担当：小野・片山

メール：[info@on-the-slope.com](mailto:info@on-the-slope.com)

電話：075-200-9773 FAX：075-200-9774

#### ◆ファイトリッチとは

「ファイトリッチ」とは、タキイ種苗が開発した機能性成分を豊富に含む野菜のことです。タキイ種苗は約 20 年前に野菜の色素に注目し、機能性を持つ成分を多く含み、食味にもすぐれた野菜の研究プロジェクトをスタートさせました。2010 年に、“植物”の phyto、および“闘う”の fight を意味する「ファイト」と、機能性成分が豊富であることを表す「リッチ」を組み合わせて「ファイトリッチ」と名付けシリーズ化しました。当初 7 品種から始めたこのシリーズは、現在では 15 品種を数えるに至り、年々その品目・品種数を充実させています。

#### ◆本連携が新規就農者増に与えるインパクト

農業従事者の高齢化や耕作放棄地拡大をうけ、新規就農者増は農業分野における喫緊の課題とされています。ところが、新規就農者は設備投資余力が少なく小規模な農場運営にならざるを得ないことから、十分な収益を確保できない例がとて多いのが現状です。

本連携は、消費者便益の大きい品種選択を行うことで新規就農の経済性向上を図る取り組みでもあります。小規模な農場でも高付加価値型の栽培ができれば、経済的に成り立ち、農業を続けることができます。またその姿は、新たな新規就農者の呼び水ともなります。本連携は、品種開発を行ってきた老舗企業と新しい販売形態を模索する新興企業が連携して新規就農のハードルを下げることを目指す、新規性が高く、社会的な意義も大きな取り組みであると考えています。



写真：新規就農者の圃場でファイトリッチ品種「京くれない」人参が順調に育っています。

#### 〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社坂ノ途中

担当：小野・片山

メール：[info@on-the-slope.com](mailto:info@on-the-slope.com)

電話：075-200-9773 FAX：075-200-9774

## 〈タキイ種苗株式会社 会社概要〉

タキイ種苗が創業したのは江戸時代後期の1835年(天保6年)、今から180年前のことです。当初は東寺の門前に店を出して「東寺の種屋」として知られ、次第に優良種苗の栽培を各地に委託し採種することで、京都内外の希望者に小売り、卸売りするようになっていきました。「高品質種子の安定供給」という種苗メーカーの使命は、現在も脈々と引き継がれています。

そのタキイ種苗の強みは、数十万種類にも及ぶ種子を保有していることです。これらの膨大な「遺伝子源」をもとに、これまでに野菜1,500品種、草花500品種を誕生させてきました。例えば、トマトの代名詞ともいえる「桃太郎」、青首ダイコンのブームを巻き起こした「耐病総太り」、品種名で販売される数少ない野菜「えびす」カボチャ、そして今回オランダのゴッホ美術館にも認められたヒマワリ「サンリッチ」など。

永年にわたり培った品種改良技術を生かし、それぞれの地域や気候に合う品種の開発を進めるとともに、近年では「ファイトリッチ」のような新たな分野も開拓しています。

## 〈株式会社坂ノ途中 会社概要〉

環境負荷の小さい農業を営む若手農家や新規就農者を増加させ、農業の持続可能化を達成することを目的とし、2009年7月に設立された企業です。

実は、環境への負担の小さい、持続可能な農業を志し新規就農を目指す方は増えていますが、たいていのは就農までたどり着きません。就農を果たしたとしても、多くの人は続けられずに辞めてしまいます。新規就農で確保できる農地は小規模だったり水はけが悪い等条件が良くないことが多く、彼ら/彼女らが栽培する農産物は少量だったり不安定になりがちです。そのため一般的なバイヤーから見て新規就農者は「つきあいにくい相手」と映ってしまうのです。

当社はこの問題を解決すべく、新規就農者を中心に60件程度の農業者と提携し、作付けの計画から共に立てていくことで、一軒一軒では少量で不安定でも、グループ全体としてはまとまった数量を安定的に供給できるという体制を構築しています。

また、持続可能な社会のカタチを例示すべく2012年からはウガンダにて有機農業普及事業を、新規就農者増を加速させるべく2013年からは京都にて育成機能を持つ自社農場の運営をスタートさせています。

## 〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社坂ノ途中

担当：小野・片山

メール：[info@on-the-slope.com](mailto:info@on-the-slope.com)

電話：075-200-9773 FAX：075-200-9774